

未来を生き抜く力と健やかな「からだ」の育成

チーム武庫 3月号

三田市立武庫小学校長 松田 文 貴

《ありがとう6年生》

1日（金）に、児童会主催の「6年生を送る会」が開かれました。各学年、工夫を凝らして、6年生への感謝と応援の気持ちを出し物とプレゼントに込めました。今年は全学年が体育館に集まって、ダンスやクイズを楽しみました。歌や漫才、クイズなど、各学年趣向を凝らした出し物を披露し、楽しいひと時になりました。退場後の6年生に感想を聞くとみんな口々に「楽しかった」と言ってくれました。

6年生は、1年生への掃除の手伝い、学校行事の準備や進行、委員会やクラブの中心としてこれまで頑張ってきてくれました。平和集会では、修学旅行をはじめとした平和学習で学んだことを全校生に伝えてくれました。1年前に、「最上級生になる準備をしっかりとしよう！」と声を掛けましたが、その6年生が間もなく卒業を迎えます。6年生への感謝の気持ちと中学校に進んでも頑張りたいというエールを在校生から送りました。



《地域でのつながりを大切に》

2011年3月11日、東日本大震災発生。今年もこの日が近づいてきました。1月17日とともに、決して忘れることのできない日です。今年の元日には石川県を中心とした能登半島の大震災が発生しました。2月末でもなお、震度4以上の地震が50回近く観測されています。現在も復旧作業が続いていますが、ボランティアもまだ入れない状態が続いているようです。寒さ厳しい時期に必死になって復旧に向かって活動されているみなさんの気持ちを思うと、なにかできることはないかと思案する毎日です。阪神淡路、東日本、中越・・・毎年この時期になると、地震の怖さや防災の大切さ、そして命や人とのつながりの大切さが思い出されます。過去の震災の教訓が生きているため、今回の震災での死傷者の数は阪神淡路や東日本の時と比べるとやや少ないです。しかし大切な命が震災によって多数奪われたことは事実です。南海トラフの大地震も遠くない先に発生すると予想されています。ぜひ普段の備えについて、ご家族で見直していただくとともに、命の大切さや人とのつながりについてご家庭や地域でお話をしていただきたいと思います。

学校でも地震への備えや避難の仕方について確かめています。3日（日）には地域防災訓練が行われました。武庫小学校の子どもたちもご家族とともに何人か参加していました。大人が関心をもって参加する姿を見せること、話をすることは、子どもにとってとても大切な経験となります。ぜひ、ご家庭でも一緒に考えていただきたいと思います。また、地域の方々が力を合わせてお世話くださっていることも併せて教えてあげてください。

学校にいる時は周りに大人がいます。しかし、子どもたちだけで過ごしているときに地震が起こることも考えられます。ご家族での約束事などを確かめていただけると、いざというときに落ち着いて行動でき、自分の命を守ることに繋がります。



【各地区から避難されています】



【炊き出し訓練もありました】

《知ろうとすること、関わろうとすること》

先週、2日間にわたって6年生に授業をしました。社会科の「日本とつながりの深い国々」という学習の一環で、私が海外赴任していた時の経験をもとに、「その国と日本との関係」や「他者とつながること」について映像を交えながら話をしました。

タブレットで調べればわかることは省略し、教科書に載っていないことを中心に授業を展開しました。人種も民族も異なる人々が一緒に生活していること、髪の色や肌の色が異なり、文化や習慣が異なる、ましてや言葉が通じない現地の人とどのようにしてつながっていったのかなど、体験談が中心でした。また、移民して半世紀以上過ごしておられる現地日本人、日系人の方の話もしました。異国で暮らす人々が、どのようにして現地に溶け込み、どうやって自分たちの生活や地位を築いていったのか、少し難しい話もしましたが、6年生はしっかり聴いてくれました。自分を知ること、自国を知ることの大切さについても話し、普段、当たり前すぎてあまり気にも留めないことが、離れてみるととても重要なことだとわかった経験も伝えました。短い時間ではありましたが、みんな熱心に話を聴いてくれました。「知りたい」という意識の表れだったと思います。

大切なことは「相手を知りたいと思うこと、知ろうとすること」です。そのために自分のことを知っておくことは大切です。言葉も、文化も、考え方も異なる人とつながることができたら、自分の隣に誰が来てもOKです。人権教育の基本だと思います。

現在、海外で起きている戦争も、軍事侵攻から2年が経過しましたが、終わる気配が見えません。さらに中東で新たな戦争が起きました。こちらも収束には向かっていません。避難されている方々の映像を報道で見るたびに心が痛みます。物事を自分の思うとおりに進めようとすると、どこかで壁にぶつかります。このような対決姿勢では敵対心以外の何も生まれません。仲良く暮らしたい、平和に暮らしたいと思っている人が大多数なのです。子どもたちの学校生活も同じで、思うとおりにならないことは多々あります。それは将来社会に出ても同じです。価値観の異なる人が一緒に生活をしているわけですから。

自分の考えを伝えることは大切ですが、相手がいるということ、相手の考えもあるということを考えなければなりません。自分にとって都合の良いことばかりではないことを理解することも大切な教育です。異なる考えを受け入れ、自分なりに理解し、穏やかに解決を試みる、そんな大人でありたいと思うとともに、子どもたちにはそんな大人に育ってほしいと願っています。



【関心を持つことはつながりへの第一歩】

《お知らせとお願い》

【全国学力学習状況調査について】

- ・全国学力学習状況調査の結果が三田市ホームページで公開されています。学校ごとの結果や分析ではありませんが、市全体の傾向が見て取れます。国語や算数の調査結果だけでなく、生活の様子についても報告されていますので、ご覧ください。
- ・毎日の学習や生活を振り返る資料としてご活用ください。

【転出入について】

- ・来年度に向けて、児童数を確定する時期に差し掛かっています。児童数の増減によって学級数が変わります。現在、数人の違いで学級数が変わる学年があります。学級が減ると、1学級当たりの人数が多くなり、教職員の数が減ることになります。

⇒転出（転校）の予定がある場合、わかり次第、学校にお知らせください。また、お知り合いやご近所等で、武庫小学校に転入される情報が入った場合も、学校にお知らせいただければ嬉しいです。よろしくお願いします。